

NEWS

FUKUE CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY

福江商工会議所ニュース



五島市の農・漁・商を守りましょう!



今こそ支えあって、このコロナ禍を乗り越え
地元経済の安定と安心な日常生活を
取り戻しましょう。

コロナの影響で五島市の経済は深刻な打撃を受けています。いつも通りのお買物が、いつもの地元のお店でできる日常を守るために、みんなで支えあいましょう。しばらくは通販を控え目にしましょう。

本誌の主な内容

- 通常議員総会(通称:決算総会)の報告
- 令和3年度地元就職者歓迎激励大会・永年勤続表彰式を開催
- 福江商工会議所女性会会員募集
- 新型コロナウイルス感染症影響調査報告
- 福江商工会議所青年部令和3年度会長挨拶及び新体制のご紹介

— 福江商工会議所情報発信中 —

- 福江商工会議所ホームページ <http://www.fukue-cci.org/>
- 福江商工会議所Facebook
- 福江商工会議所は、docomo無料wi-fiがご利用可能です。

皆様のご意見、ご要望がありましたらお寄せください。



～通常議員総会（通称：決算総会）の報告～

去る6月28日(月)カンパーナホテル2階において福江商工会議所通常議員総会（決算総会）が開催されました。

通常議員総会において令和2年度の事業実績報告及び収支決算報告について審議及び承認を頂きました。

審議終了後に下記の4名の方に対して日本商工会議所、福江商工会議所より令和3年度創業・創立記念会員事業所表彰が授与されました。

●令和3年度 会員表彰一覧（連名）

（敬称略）

表 彰 名		連名表彰	福江商工会議所優良事業所連名表彰規則30年以上（第4条第1項） 日商連名表彰（第7条第1項(3)）-会員5年以上、創業・創立30年以上			
No.	事業所名	役 職	代表者	創業・創立・開設日		年数
1	(有)川崎工務店	代表取締役	川崎 雅直	創立	1951 / 1 / 1	70
2	福江開発(株)	代表取締役	才津 輝夫	創立	1971 / 10 / 1	50
3	(有)東洋自動車部品商会	代表取締役	西村 清孝	創立	1971 / 10 / 30	50
4	(株)司コーポレーション	代表取締役	庄司 鉄平	創立	1991 / 4 / 1	30

※福江商工会議所表彰規則第2条に基づく表彰-10年、20年、周年毎
10年、20年は、福江商工会議所会頭表彰・30年以上の連名表彰は1回限り

総括的概要

2020年の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況下にあり、経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、景気の回復は道半ばとなりました。政府は、感染症の拡大防止策、ポストコロナに向けた経済構造の転換・防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保を柱とする「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」を策定し、コロナ禍の経済浮揚に取り組みましたが、回復についてはコロナの収束時期の判断が基点となりそうです。

一方、長崎県の景況は、設備投資は減少、個人消費も伸び悩んでおり、雇用情勢も低調である中、僅かに持ち直しの動きが見られ景況悪化に歯止めがかかっているものの新型コロナウイルス感染症の再拡大により、厳しい状況が続いています。

また、五島市においても、2年連続して転入が転出を上回る「社会増」に転じましたが、急速な少子高齢化、人口過疎化などの様々な社会要因がある中、新型コロナウイルスの影響が重なり、経済的には厳しい状況となりました。会議所が令和3年2月に会員850社にアンケート調査した結果によると、回収した80%の企業の売上が減少したと回答しており、客数の減少や納品の遅延が43%となっております。

このような中、福江商工会議所が令和2年度に掲げた下記、基本方針の実績について総括的に検証すると以下のとおりとなりました。

●令和2年度 基本方針

- 交流人口の新たな需要を拡大する手段を見出すこと。
 - ①再生可能エネルギーにかかる視察研修者の受入を増加する。
 - ②長崎市と連携して「脱炭素化と平和」のテーマにおける修学旅行等の誘致及び観光資源の開拓。
- IR集客からの観光客の誘致計画の策定をおこなうこと。
 - ①プライベート・ビジネスジェットの給油施設・駐機場・格納庫設置。
 - ②福江港から県北地域までの船舶ルートの導入による新たな来島者の増加。
- 再生可能エネルギーにおけるRE100の推進にかかる認定委員会の創設と認定証の発行による新ブランド化。
- 人手不足解消のため「特定地域づくり事業協同組合」の設立を手がけること。
- 会員企業の成長や持続化に向けて、国・県・市の制度を活用し、経営力向上、事業承継、経営革新、創業等を積極的に推進する。

●事業推進の総括的検証について

1. については、新型コロナウイルス感染拡大により、島外からの観光等については、積極的に推進する事が出来なかった事により、事業順位を繰り下げました。
2. ①については、長崎県商工会議所連合会の共同提案項目として、令和2年7月31日、長崎県庁にて中村知事へ要望書を提出しました。また、五島市が組織した、「五島つばき空港活用による地域活性化推進事業検討会議」に出席して、最終的な取りまとめをする予定でありましたが、首都圏が緊急事態宣言延長となった事により、関係企業への訪問・協議などが出来なかったため、令和3年度まで延長することになりました。
2. ②については、令和2年8月に五島産業汽船が、上五島町の鯛ノ浦港と平戸港を結ぶチャーター船の不定期航路の事業申請をしている事から、その動向を見ることとしました。（令和2年11月26日、平戸商工会議所が当地に研修で来所された際に協議）
3. については、五島市再生可能エネルギー産業育成研究会において、「五島版RE100創設委員会」を設置し、ロゴマークも決定しました。若干遅れますが、令和3年度早期に会員事業所へ周知し、「五島版RE100認定委員会」を設立し、事業所を認定していく予定としております。また、今後も継続して認定事業所の推進を図って行きます。
4. については、プロポーザル方式で採択された後、五島市と組合設立にかかる業務委託契約を締結し、①労働者派遣事業基本契約書の作成、②発起人候補企業説明会、③市内企業向け事業説明会、④市内企業へのアンケートの実施、⑤会員候補企業ヒヤリング、⑥組合認可申請書作成、⑦発起人会、⑧定款、就業規則、給与規定等の作成、⑨創立総会、理事会の開催、⑩認可申請等、一連のスケジュールのもとに、令和3年3月12日に長崎県知事より許認可を取得しました。現在、事業協同組合において、社員を雇用しており人手不足の解消となる労働者派遣事業を行っています。また、日本語学校のベトナム人留学生の短時間就労として、会議所会員に斡旋し臨時雇用の人手不足の解消にも手立てを行いました。
5. については、
 - ①国・県・市がコロナ対応の支援として打ち出した持続化給付金、家賃支援給付金、休業要請協力金、事業継続支援金など様々な支援金申請のサポートを行いました。
また、支援金の周知や申請方法等については、会議所ニュースにより会報を7回発行、当所HPに適宜アップし、情報の提供に努めました。
 - ②金融については、事業者の経営を存続するための運転資金等の申込に対し、日本政策金融公庫のコロナ普通貸付、経営改善貸付を中心に融資を講じ、さらに金融制度についてはチラシを作成し新聞に折り込んで周知しました。
 - ③経営力向上等については、中小企業診断士を招聘して、企業の持続可能な経営力を高めるため、事業計画書作成セミナーや持続化補助金セミナー、第2創業する企業や雇用拡充補助金に対応した創業セミナー、また働き方改革の同一労働・同一賃金に対しては、長崎働き方改革推進支援センターによる説明会、事業承継問題に対しては事業承継ネットワーク・事業承継センターによる説明会や個別相談など、持続可能な企業経営に必要な知識の習得、事業存続のためのセミナー・相談を開催いたしました。
さらに、日本商工会議所の補助金やエキスパートバンクの活用による専門家による経営個別相談を開設するとともに職員の自己啓発のための金融研修会も行いました。

会議所本体としては、国の緊急事態宣言が発令され、コロナ禍により島外からの観光客等が減少する中、地域の消費を喚起するため、令和2年4月に五島市及び各事業組合のご協力を得て「新型コロナウイルス対策プレミアム付商品券」を発行し、売上が減少した業種の支援を行いました。さらに五島市が国の交付金で発行した総額9億円の「五島市つばき商品券」については、実行委員会を立ち上げ、広報・商品券の印刷他、商品券の販売及び換金業務まで事務局で対応いたしました。

また、福江みなと祭りなど様々なイベントが中止される中、「新型コロナウイルス退散祈願地域活性化イベント」を開催し、地域の保育園や学校の発表の場を提供し、出店を誘致し、賑わいの場とコロナの収束を願って花火を打ち上げました。

その他、「浮体式洋上風力発電設備における魚礁の設置」「福江港港湾整備事業」についても、県に要望しており、今後も引き続き継続して行く所存であります。

以上、実績については、コロナの状況により計画通りにならないものもありましたが、緊急に対応しなければならないものを優先して、出来る限りの事業について役職員一丸となって事業の推進に邁進したものであります。

令和3年度

地元就職者歓迎激励大会・ 永年勤続表彰式を開催

- ◆五島市内就職企業29事業所・就職者数51名
- ◆永年勤続表彰37名



去る6月17日（木）、カンパーナホテルにおいて当所主催による「地元就職者歓迎激励大会並びに永年勤続表彰式」が開催されました。本大会は、本年度学校を卒業され地元企業に就職された29事業所51名の皆様へのお祝いと感謝の意を表するため開催するもので、各組織の代表が集い激励のお言葉をお伝えしました。併せて、地元企業に永年勤務し企業の発展に多大なる貢献をされた方々の表彰式も行いました。当所としても今回地元就職された皆様が、先輩方の姿を心に刻むことで勤労意欲の向上と就職された企業への定着を図ることが出来ればと考えております。

主催者である福江商工会議所の清瀧会頭は出席された地元就職者に対し「愛する心を育てて下さい。五島を愛し、職場を愛し、仲間たちとの愛を広げてください。若い皆様にしかならない愛を育んで、新しい社会を作り上げてください。私達の住む街を明るく豊かで魅力ある街にする為に、皆で五島の未来を作り上げていきましょう。」と激励の言葉を贈りました。



新社会人としての抱負を述べる地元就職者

また、多数ご臨席を賜ったご来賓のうち、五島市長野口市太郎様（代読）、五島公共職業安定所所長濱村謹市様のお二方にご祝辞を頂きました。最後に新入社員を代表し、株式会社今村組勤務福田健介さんが、「将来の五島市経済の担い手として、若さと柔軟な発想を持ち、企業や地域の役に立つように邁進します。」と抱負を語りました。

〔被表彰者〕 永年勤続表彰（順不同・敬称略）

1. 長崎県知事 表彰（30年以上）

- ・有限会社平村自動車 3名 ・こばた電設株式会社 2名 ・福江開発株式会社 1名 以上6名

2. 日本商工会議所会頭 福江商工会議所会頭 連名表彰（30年以上）

- ・有限会社平村自動車 2名 ・こばた電設株式会社 2名 ・福江開発株式会社 1名 以上5名

3. 福江商工会議所会頭 表彰（20年以上）

- ・有限会社平村自動車 1名 ・こばた電設株式会社 12名 ・福江開発株式会社 6名
- ・福江信用組合 1名 ・有限会社川崎工務店 2名 ・福江サンヨー株式会社 4名 以上26名



商工会議所女性会

福江商工会議所女性会会員募集!!

福江商工会議所女性会は現在会員を募集しています。

主な活動と致しまして、福江みなとまつりへの参加・地域事業への協力・愛のチャリティ歌の祭典の開催など、多岐にわたり活動の場を広げております。

長崎県下の女性会との交流も積極的に行ない、大会や他女性会の事業に参加することで、島内外での多くの繋がりを深めることもできます！

多方面での見聞を深めたい方、地域を盛り上げたい・振興を図りたい方、会員一同大歓迎しております！

入会希望・
お問い合わせ

福江商工会議所 TEL.0959-72-3108

（担当：白石、橋本、大坪までお気軽にお尋ねください！）

新型コロナウイルス感染症影響調査報告

福江商工会議所

五島市を取り巻く経済環境は、急速な人口過疎、少子高齢化などに併せて昨年より新型コロナウイルス感染症の影響を受け非常に厳しい状況下となっております。福江商工会議所といたしましても新型コロナウイルス感染症の長期化により経営へのさらなる影響が懸念している所であります。今回、会員企業の現況を把握するとともに五島市をはじめ行政機関への支援策要望等につなげるためにも会員皆様のご意見が必要と考え下記期間にてアンケート調査を実施しました。アンケート調査結果は下記のとおりとなります。

調査方法

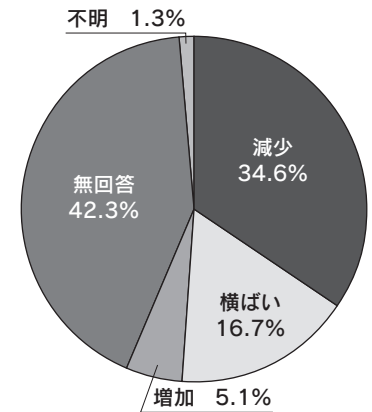
- 回答期間 令和3年2月～令和3月
- 調査対象 福江商工会議所会員事業所826社（回答数167社・回答率20%）
- その他 5月8日からの長崎県緊急事態宣言の期間は含んでおりません。

1. 第2回新型コロナウイルス影響調査回収数

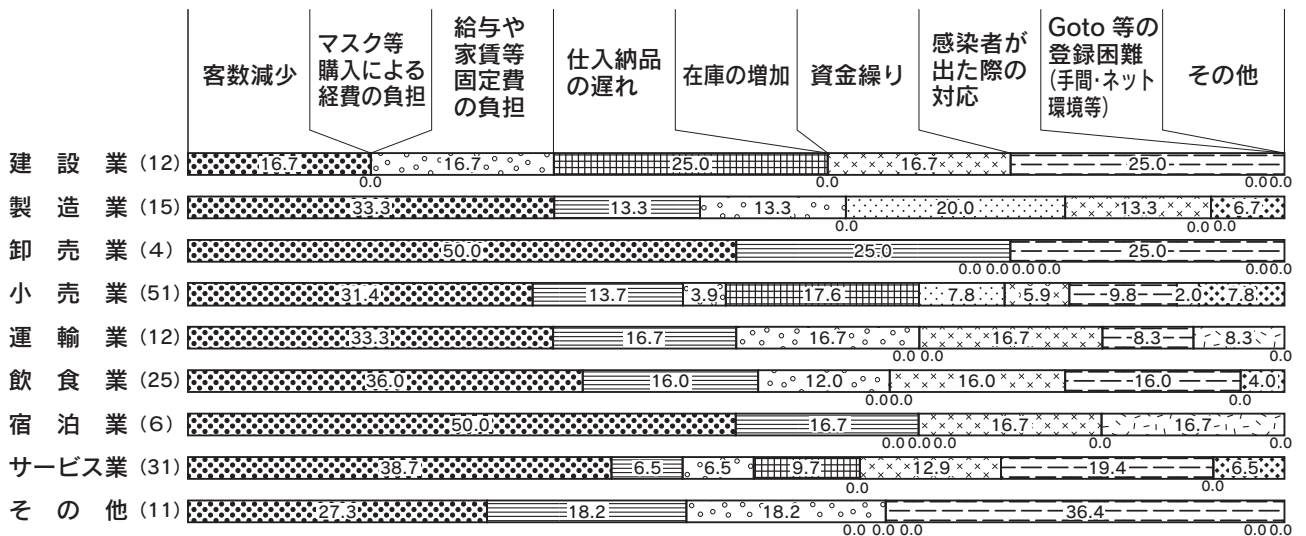
建設業	製造業	卸売業	小売業	運輸業	飲食業	宿泊業	サービス業	その他	合計
12	15	4	51	12	25	6	31	11	167

2. 対前年比売上増減

業種	減少	横ばい	増加	無回答	不明
建設業	4	3		5	
製造業	6	3		5	1
卸売業	1	1		2	
小売業	13	7	5	25	1
運輸業	3	2		7	
飲食業	9	1		15	
宿泊業	3			3	
サービス業	12	7	1	11	
その他	3	2	2	4	
合計	54 (34.6%)	26 (16.7%)	8 (5.1%)	66 (42.3%)	2 (1.3%)



3. 新型コロナウイルス影響の課題



4. 新型コロナウイルス対応の支援・融資制度の活用

	重複合計	事業者支援給付金(市)	持続化給付金(国)	家賃支援給付金(国)	雇用調整助成金(国)	休業要請協力金(県)	新しい生活様式対応支援補助金(県)	融資(民間金融機関)	融資(政策公庫)	その他	活用していない
建設業	8		5				1				2
製造業	17	1	3		2		2	2	1	1	5
卸売業	2										2
小売業	53	12	11	1	2		9	2	7	1	8
運輸業	5	2			1		1				1
飲食業	39	9	7	4		7	8	1	3		
宿泊業	8	3	3			1	1				
サービス業	34	6	7	2	4	2	5		2	1	5
その他	13	3			2		3	1	2		2
合計	179	36	36	7	11	10	30	6	15	3	25

福江商工会議所青年部 令和3年度 会長挨拶及び新体制のご紹介



定期総会報告

4月17日（土）、令和3年度福江商工会議所青年部定期総会が開催されました。本来は会員が一堂に会しての総会となる予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、初のWEB開催となりました。今までと異なる形式での総会でしたが、滞りなく新年度計画について8議案が承認されました。田中新会長のもと、新時代への適応力をもって新たな年度のスタートを切る、非常に有意義な会となりました。

令和3年度スローガン 適応力～新たな時代での挑戦と進化～

所 信

第39代会長 田中 英昭

日本国内で最初の新型コロナウイルス感染が確認されてから1年数ヶ月が経過しました。当初はいろんな意味で楽観的な雰囲気もありましたが、月日が経つごとにこの目に見えない未知のウイルスの高い感染力と繰り返される感染の波に翻弄され、私たちのライフスタイルや働き方などの急激な変化を余儀なくされました。例えば、テレワークやWeb会議等の利用は新型コロナに関係なく時代の流れで「そのうち起こる変化」のはずだったわけですが、それらの仕組みがこの1年で急速に発達したのです。我々はこの急激な変化に取り残されず環境に適応できる柔軟性を持って取り組んでいかなければなりません。

そこで、令和3年度スローガンを「適応力～新たな時代での挑戦と進化～」としました。

「戦前・戦後」という言葉が使われますが、今は「コロナ前・コロナ後」というキーワードをよく耳にするようになりました。戦争に匹敵する程大きく時代が変化しているこの最中に、我々はどうしたら活動を続けられるのか。生活のため、大切な人のため、地域のために、時代に適応していくにはどうしたらよいのか。真剣に考え創意工夫をして、福江YEGと会員事業所双方が更なる進化を遂げられるよう全会員で挑戦していきたいと思っています。

また、令和3年度は組織改革を実施し、委員会の数を新たに2つ設置しました。いずれも地域の未来を見据えた活動に更に力を入れることを目的とした委員会です。目先のことだけでなくこの地域の未来（子供たち）のために少しでも次の種を蒔いておくことも我々の務めであると考えたからです。

これまでの福江YEGの伝統の継承と新たな挑戦、それら活動を全会員が協力し合い実施することで得られる仲間としての意識と経験値や達成感。福江YEGに所属する意味はここにあります。

新型コロナの終息はまだ見えず、計画通りに進まない状況もまだまだ続くでしょう。しかし、まずは計画しないと何もできません。どうしたらこの時代に適応できるか一緒にアイデアを出し合い工夫しながら前向きに取り組んで参りたいと考えております。

ご協力賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

新体制

- ・会長 田中英昭 ・直前会長 角川一幸 ・副会長 有川佑樹、浦雄介、都々木真一
- ・総務委員長 増山勲章 ・サッカー大会実行委員長 山本能誉
- ・事業委員長 山本信太郎 ・地域未来委員長 神宮司真人
- ・広報委員長 野原拓馬 ・例会委員長 中野新二